2010年5月21日22日
岩手県山岳協会、登山普及部主催

# 新潟県 佐渡が島山行

# 金剛山・金北山

金剛山　5月21日(金曜日)　天候晴れ

21:00(20日)　滝沢役場出発。東北道・磐越道～新潟中央IC経由にて新潟港フェリー乗り場へ。

4:30　新潟湾着。
6:00　佐渡汽船フェリー乗車出発。
8:30　佐渡島両津湾着。渡島後、佐渡東署の道路通行許可届出。
10:00　ドンデン山荘より登山行動開始。風が強く吹いていたものの寒さは感じず、盛岡からのバスと船による長旅の疲れも見せず皆順調に歩き始める。
10:20　尻立山着。広々とした牧野にはミヤマキンバイに良く似たエチゴキジムシロの黄色い花が登山道を彩り、早くも花の名山としての兆しが窺われた。
10:50　標高約870M地点の小ピークにて小休止。　登り始めに吹いていた強い風もこの頃にはさほど気にならなくなり、登っていると少し汗ばむ陽気に恵まれる。
11:10　荒尻山着。登山道にはアマナの白い花が群生し、ニシキゴロモやミヤマカタバミやミスミソウの小さな花が目を楽しませてくれる。　またタムシバの白い花が新緑の緑に一際鮮やかに目立ち、さわやかな山容をかもし出していた。
12:20　滑石山着。ここで大休止、荒尻山からの登山道は遅い雪解けの影響でドロドロに濡れた悪路となり足場を探しながらの難儀な登りとなる。しかし登山道脇には見事に群生したカタクリの花が咲き、そのカタクリロードは永遠と続きその模様は見事としか言いようがない。
14:00　金剛山山頂着。　ドロドロに濡れた登山道にだいぶ靴を汚してしまったが、途切れることが無いカタクリの花に背中を押され全員無事山頂を踏む。山頂には赤い鳥居の前にお宮は置かれ信仰の山である事が窺える。
14:15　下山開始。下山は白瀬へと下る。登山道には先ほどまで咲いていたカタクリの花から一転しこんどは見事なオオイワカガミのピンク色の花が所狭しと咲き乱れていた。花の名山と聞いてはいたが、その蕪の多さに驚かされる。
15:45　白瀬登山口着。　金剛山山頂からの下山は急坂の下りが多かったが最後に小さな沢に架かる橋を渡り無事登山口まで降りてきた。但し白瀬集落からこの登山口まで道路が狭い為、中型バスの乗り入れができず、白瀬集落(海岸沿い)まで更に約2kmの舗装道を歩く。舗装道脇では島民の方々が農作業の最中で、チョット目を凝らすと、ワラビ、ボウナなどの山菜も多く見られた。
17:10　本日の宿「みなみ旅館」着。　海辺に面したみなみ旅館は天然温泉露天風呂も有り今日一日の山行の疲れを癒してくれた。　夕食も期待通り佐渡近海で獲れた海の幸が並び美味しい料理に舌鼓を打つ。　なにより、女将さんの心づくしの気配りが旅情をいっそう思い出深いものにしてくれた。

大佐渡山脈　金北山　金剛山　山行

金北山　5月22日(土曜日)　天候晴れ

6:00　みなみ旅館を出発。朝食と昼食を手渡され、朝食はバスの中で頂く。今日の金北山山行に向けて昨日と同じドンデン山荘を目指しバスに揺られる。
6:55　ドンデン山荘から登山行動開始。大佐渡山脈を昨日の金剛山とは逆の南側に位置する金北山へと向かう。ドンデン山荘の展望地からは飯豊連峰から北アルプスの山容が遠望できた。登山口入口には花の百名山と書かれた文字に期待が膨らむも、金北へ13.6kmとの距離表示に長い一日になることが予想された。
7:50　マトネ着。小休止、シラネアオイ、ニリンソウが咲き、目を楽しませてくれた。特にヒトリシズカの群生(大蕪)は見事だった。
9:00　真砂の峰着。小休止、眺めの良い尾根歩きはとても気持ち良く、佐渡を代表する両津湾、真野湾の二つの湾に挟まれた田園風景が一望できた。新潟湾⇔両津湾を行き来する大型フェリーが海に浮ぶ姿が印象的だった。ここで金北山をバックに全員で記念撮影をする。真砂の峰を後にイモリ平と書かれた場所には携帯トイレ利用スペースが設けられていた、携帯トイレスペースは木枠で囲まれていて人目を避けることが出来、登山者、特に女性にはありがたいスペースに思える。自然への考慮や登山者のマナーが問われる昨今、気の利いた設備だと思った。
9:50　天狗の休場着。小休止、昨日のドロドロの悪路とは一転し、乾いた登山道はとても歩きやすい。花も良く、天気にも恵まれ気持ち良い山行となった。
11:20　金北山山頂着。大休止、天狗の休場から山頂までは見事なカタクリの花々に囲まれた登山道を歩く、あやめ池付近から少し濡れた悪路となるが、昨日に比べれば然程苦も無く歩けた。山頂直下には残雪が登山道を塞いでいたが支障なく登ることができた。金北山からドンデン山荘に向かう登山者約20名位のパーティー二組とすれ違い、道を譲ったため少し時間がかかってしまった。
山頂で今朝手渡されたおにぎり弁当を頂く、金北山山頂には防衛省のレーダー設備があり、立派な神社のすぐ横に緑色の大きなドーム型の建設物が威圧的だった。山頂からの眺望も良く、遠望がきく日であれば本土の山並みを綺麗に見渡す事が出来るだろう。約30分の休憩後下山開始。
13:00　白雲台着。全員無事下山完了、新しく作られたのか?とても綺麗な建物の中にはお土産屋と軽食を楽しめるスペースがあり、展望も良く、自動車で気軽に来れるため観光客の方々で賑わいを見せていた。　皆それぞれビールやソフトクリームなどを手に長い山行を労う。

下山後、土佐観光となる。　姫津大橋、逸見酒造(真稜)、トキの森公園などを見学しお土産品などを買い求める、両津湾カーフェリー乗り場近くの海鮮市場にて夕食を頂き、19:30分出港のフェリーに乗り帰路へ就く。

4:30　(23日)滝沢役場着。　解散。

登山普及部　齋藤　政人　記